

第85回

日本心臓血管放射線研究会

プログラム・抄録集



◇会 長: **北川 覚也**
三重大学大学院医学系研究科 放射線医学教室
〒514-8507 三重県津市江戸橋2-174
TEL: 059-231-5029(代)
e-mail: support@jscvr.org

◇会 期: **2017年6月3日(土) 8:30～**

◇会 場: **ウエスティン都ホテル京都4F 瑞穂の間C(Room3)**
〒605-0052 京都市東山区栗田口華頂町1(三条けあげ)
TEL: 075-771-7111
<http://www.miyakohotels.ne.jp/westinkyoto/access/index.html/>

◇事務局: **愛媛大学医学部 放射線科**
〒791-0295 愛媛県東温市志津川
TEL: 089-960-5371
E-mail: jscvr@jscvr.org(担当 城戸、北村)

※研究会ホームページ: <http://www.jscvr.org/>

共 催

日本心臓血管放射線研究会
バイエル薬品株式会社

併 催

The 11th Congress of Asian Society of Cardiovascular Imaging(ASCI2017)

幹事・世話人

幹 事

望月 輝一	愛媛大学	[代表幹事]		
栗井 和夫	広島大学		似鳥 俊明	杏林大学
宇都宮大輔	熊本大学		濱田 星紀	仁泉会 MI クリニック
大瀧 誠	医療法人社団 山中湖クリニック		林 宏光	日本医科大学
木村 文子	PsIクリニック・ダイヤモンドメディカルネット		東 将浩	国立病院機構大阪医療センター
汲田伸一郎	日本医科大学		兵頭 秀樹	北海道大学
小林 泰之	聖マリアンナ医科大学		松永 尚文	山口大学
齋藤 陽子	弘前大学		真鍋 徳子	北海道大学病院
坂本 一郎	長崎大学病院		森田 佳明	国立循環器病研究センター
佐久間 肇	三重大学		山田 哲久	日本赤十字社医療センター
陣崎 雅弘	慶應義塾大学		横山 健一	杏林大学
高瀬 圭	東北大学		吉岡 邦浩	岩手医科大学
田中 良一	岩手医科大学		吉村 宣彦	新潟大学医歯学総合病院
富口 静二	熊本大学			

世 話 人

天沼 誠	高瀬クリニック		阪口 昇二	松原徳洲会病院
天野 康雄	日本大学		佐久間 亨	東京慈恵会医科大学
安野 泰史	大同病院		末吉 英純	長崎大学
市川 泰崇	三重大学		立神 史稔	広島大学
植田 琢也	千葉メディカルセンター		田所 導子	高知大学医学部附属病院
大田 英揮	東北大学病院		富澤 信夫	新東京病院
太田 靖利	鳥取大学		長尾 充展	東京女子医科大学
岡田 宗正	山口大学		中島 崇智	埼玉県立循環器・呼吸器病センター
奥田 茂男	慶應義塾大学		東野 博	松山ハートセンター
尾田 済太郎	熊本大学			よつば循環器科クリニック
川上 剛	東京慈恵会医科大学		平井 信彦	株式会社エムネス
北川 覚也	三重大学		福島 賢慈	東京女子医科大学病院
吉川 公彦	奈良県立医科大学		星 俊子	埼玉慈恵病院
城戸 輝仁	愛媛大学		堀 祐郎	昭和大学藤が丘病院
黒木 一典	杏林大学		町田 治彦	東京女子医科大学東医療センター
河野 淳	国立循環器病研究センター		渡邊 絵里	東京女子医科大学
小山 恵子	群馬県立心臓血管センター			
城戸 輝仁	愛媛大学	[事務局代表]		

第 85 回日本心臓血管放射線研究会 ご案内

時下、先生方にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

第 85 回日本心臓血管放射線研究会のプログラムをお送りいたします。演題をご応募いただいた先生方、座長や講演をご快諾いただきました先生方に深謝申し上げます。

今回は、ASCI2017 (The 11th Congress of Asian Society of Cardiovascular Imaging、6月1日(木)～3日(金)、ウェスティン都ホテル京都、大会長：佐久間 肇先生)と併催します。2009年6月東京でASCI2009(大会長：栗林幸夫先生)と第69回日本心臓血管放射線研究会(大会長：陣崎雅弘先生)を開催して以来、日本でASCIを開催するのは2回目となります。

第85回日本心臓血管放射線研究会は3日目のRoom3で開催します。いつもの研究会とは違い、ASCI2017に参加する海外の先生方にも当研究会に参加していただけるよう英語の口演で一般演題を募集しましたら、9演題のご応募をいただきました。また、ASCIとジョイントで、「Noninvasive Imaging in Patients with Acute Chest Pain」というセッションを開催します。いつも研究会で行っている症例検討会は、宇都宮大輔先生にご尽力賜り、ASCI、NASCI、ESCRのメンバーにも加わってもらい国際的な症例検討会として最後にプログラムしております。勿論、恒例の診断名当てクイズも行いますので、奮ってご応募していただき賞品をゲットしてください。機器メーカー2社によるいつものランチョンセミナーは行いません。ASCI2017で企画された各社のランチョンセミナーへご参加ください。

第85回日本心臓血管放射線研究会の参加登録費は、医師・企業20,000円/コメディカルスタッフ5,000円で、当日登録のみとなります。第85回日本心臓血管放射線研究会に登録された先生は、ASCI2017のプログラムにも参加できます。研究会の受付を6月1日(木)より対応できるようにいたします。詳細はご案内ページをご参照ください。

ASCI2017関係者と協力しながら研究会の準備を鋭意進めております。先生方のご発表と活発な質疑応答が研究会の充実を決めるものと思っておりますので、多くの先生方のご参加をお待ちしております。

2017年5月吉日

第85回日本心臓血管放射線研究会会長

北川 覚也

(三重大学大学院医学系研究科 放射線医学教室)

ご案内

1. 総合受付

- 1) 日 時：2017年6月1日（木）7：30～16：30 東館2F 宴会ロビー（ASCI2017 総合受付 向かい側）
6月2日（金）8：00～17：30 同上
6月3日（土）8：00～16：00 同上

- 2) 参加費：医師・企業 ¥20,000 / コメディカル ¥5,000

※参加登録受付は当日登録のみとなります。

（参加費は現金のみ受付いたします。クレジットカードは使えませんので予めご了承ください）

※引き換えにネームタグ（兼出席証明・領収証）をお渡しします。

※上記のネームタグで、ASCI2017のオフィシャルプログラム（TAVR Courseを除く）にも参加できます。

※ASCI2017でご発表される方、TAVR Courseにご参加の方は、ASCI2017への参加登録をお願いいたします。

※会期中は、常に参加証をご着用ください。

2. 一般演題

1) 座長

- ・セッションの終了時刻を厳守いただくようお願いします。
- ・質疑のお時間は以下を目安としますが、セッション内での時間配分はお任せします。
Session 1 1～4、Session 2 5～6：質疑3分
Session 2 7～9 (case reports)：質疑2分

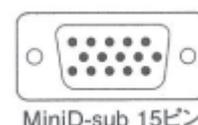
2) 発表者

- ・発表時間は下記の通りです。時間を厳守してください。
Session 1 1～4、Session 2 5～6：発表**7分**、質疑**3分**
Session 2 7～9 (case reports)：発表**6分**、質疑**2分**
- ・ASCI2017との併催に伴い、ご発表言語は英語となります。質疑は英語を推奨いたしますが、日本語でも構いません。
- ・発表スライドは英語にて作成ください。
- ・発表の30分前までに4F 瑞穂の間前にてデータ受付をお済ませください。
- ・本学会での口演発表は、すべてPC発表です。35mmスライドやOHP、ビデオテープでの発表はできません。
- ・発表時間の10分前までに、会場左前方の「次演者席」にご着席ください。
- ・登壇と同時にスライドショーの1ページ目を主催者側で表示いたします。プレゼンテーションは、舞台上のキーボードとマウスを使用して、発表者ご自身で操作してください。画面は舞台上のモニターでも確認できます。

3) データ作成方法

- ・プレゼンテーション作成ソフトは、Windows版PowerPoint（バージョン2007～2016）を使用してください。
- ・文字、段落のくずれ、文字化け、表示されないなどのトラブルを避けるため、文字フォントは、Windows標準のものをご使用ください。
日本語：MSゴシック、MSPゴシック、MS明朝、MSP明朝
英語：Times New Roman、Arial、Arial Black、Arial Narrow、Century、Century Gothic、Courier New、Georgia
- ・動画の解像度は、XGA（1024×768）です。解像度がこれより大きい場合は、画面の周囲が切れてしまうことがありますのでご注意ください。
- ・お持ち込みいただけるメディアは、CD-R（CD-RW不可）、もしくはUSBフラッシュメモリーです。

- ・ CD-Rへの書き込みの際は、ファイナライズ（使用したファイルを閉じる）作業を必ず行ってください。この作業が行われなかった場合は、データを作成したPC以外で開くことができなくなることがあります。あらかじめ、CD-Rを作成したPC以外でもデータを開くことができることをご確認ください。
- ・ メディアには、当日発表されるデータ以外のデータは入れないようにしてください。データのファイル名には、演題番号（半角）に続き、発表者の氏名（漢字）を必ず入れてください。
- ・ 動画をご使用の場合は、PowerPointとのリンク状態を保つため、動画ファイルも同じフォルダに保存してください。
ファイル形式は、Windows Media Playerで動作するファイル形式（推奨:WMV形式）をご使用ください。（AVI形式はCODECによって再生できない場合があります。）
- ・ 動画をご使用の場合は、ご自身のPCをお持ち込みいただくことをお勧めいたします。また、音声はご使用できません。
- ・ 不意のアクシデントに備え、必ずバックアップデータをご持参ください。
PCに取り込んだ発表データは、主催者で責任をもって消去いたします。
- ・ Macintoshでプレゼンテーションデータを作成される方は、ご自身のPCをお持ち込みください。
- ・ PCをご持参される方は、外部出力ディスプレイが可能であることを必ずご確認ください。また、バッテリー切れを防ぐため、電源アダプターをご持参ください。お持ち込みPCの外部モニター出力端子の形状を必ず確認し、必要な場合は、接続用の端子をご持参ください。接続は、Mini D-sub15ピン3列コネクタとなります。（ジョイントコネクタも発表者ご本人がお持ちください。）



MiniD-sub 15ピン

※HDMIやMini DisplayPortなどMini D-sub15ピン以外の接続はお受けできません。

4) プログラム、抄録の掲載

- ・ プログラムは研究会ホームページに2017年5月12日（金）から掲載します。
- ・ 抄録は研究会終了後、会員専用ページに掲載します。
ホームページへの掲載を許可していない演題については、演題名・発表者名・所属のみ掲載します。なお、閲覧にはアカウントが必要ですので、会員登録（無料）をお済ませください。登録後、専用アカウントをメールにて配信します。
- ・ 画像を除く抄録は、日獨医報（バイエル薬品発行）に後日掲載します。

3. ASCI2017との合同セッション

(1) Joint session with JSCVR "Noninvasive Imaging in Patients with Acute Chest Pain"

日 時：2017年6月3日（土）10：15～11：45

会 場：ウエスティン都ホテル京都 4F 瑞穂の間C (Room3)

Moderator：Kei Takase (Tohoku University, Japan)

Yun Hyeon Kim (Chonnam National University, Korea)

Speaker：Yeon Hyeon Choe (Sumsung Medical Center, Korea)

Luigi Natale (Catholic University of the Sacred Heart, Italy)

Karen Ordovas (University of California San Francisco, USA)

Hideki Ota (Tohoku University, Japan)

(2) Joint Case Discussion with JSCVR

日 時：2017年6月3日（土）19：00～20：30

会 場：ウエスティン都ホテル京都 4F 瑞穂の間A (Room1)

※Room3 は中継会場となります。

ご案内

Question teams (7) : JSCVR (Japan) x 2、ASCI (Korea),(Hong Kong),(Singapore)、
NASCI (USA)、ESCR (Europe)

Diagnostic reading teams (7) : ASCI-Square team x 7

※Diagnostic reading competition for the selected cases showing by monitors in lobby
Please fill in the dedicated voting slip with the diagnostic disease that you judged,
and apply it by 14:00 on the day !!! JSCVR presents prizes to the excellent
respondents in the last of this session.

4. 幹事会

日 時：2017年6月2日（金）13：00～14：00

場 所：ウエスティン都ホテル京都 2F 愛宕の間（Room 5）

5. 世話人会

日 時：2017年6月3日（土）11：45～12：00

場 所：ウエスティン都ホテル京都 2F 愛宕の間（Room 5）

6. ASCI 2017 Congress Reception

日 時：2017年6月2日（金）19：00～21：00

場 所：ウエスティン都ホテル京都 東館 2F 山城の間

参加費：5,000円（※ASCI 2017 総合受付内「総合案内」にて会費をお支払いください）

7. 次回開催案内

【第86回日本心臓血管放射線研究会】

会 長：奥田 茂男（慶應義塾大学）

会 期：2018年1月13日（土）

会 場：東京コンベンションホール

※第29回日本心臓血管画像動態学会（1月29日（月）～30日（火））と併催いたします。

8. 次々回開催案内

【第87回日本心臓血管放射線研究会】

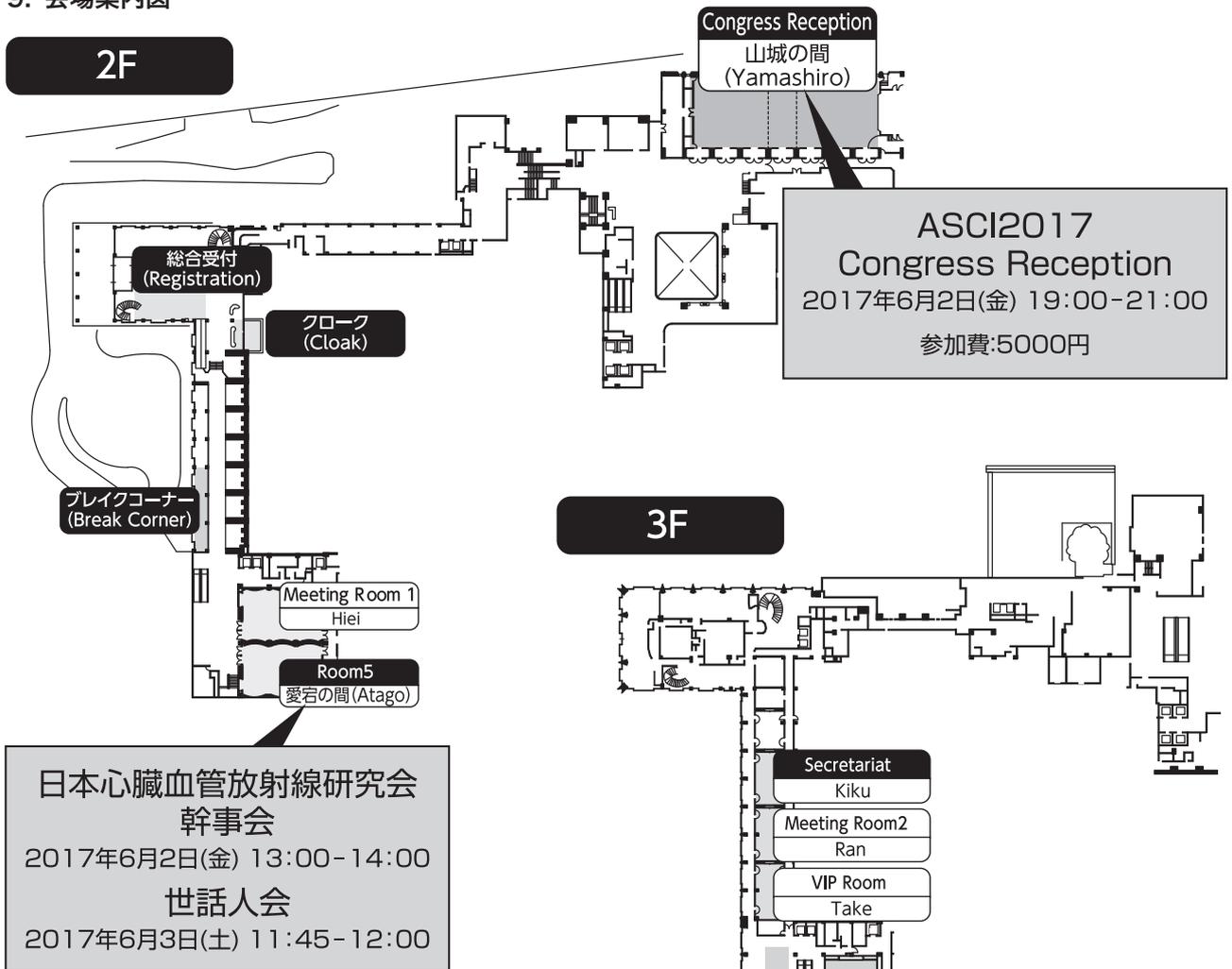
会 長：宇都宮 大輔（熊本大学）

会 期：2018年7月7日（土）

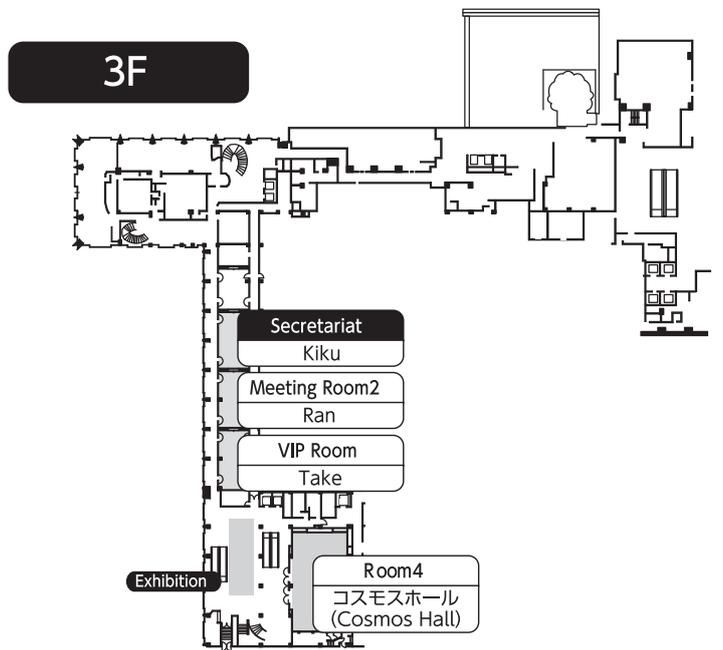
会 場：ANAクラウンプラザホテル熊本 ニュー スカイ

9. 会場案内図

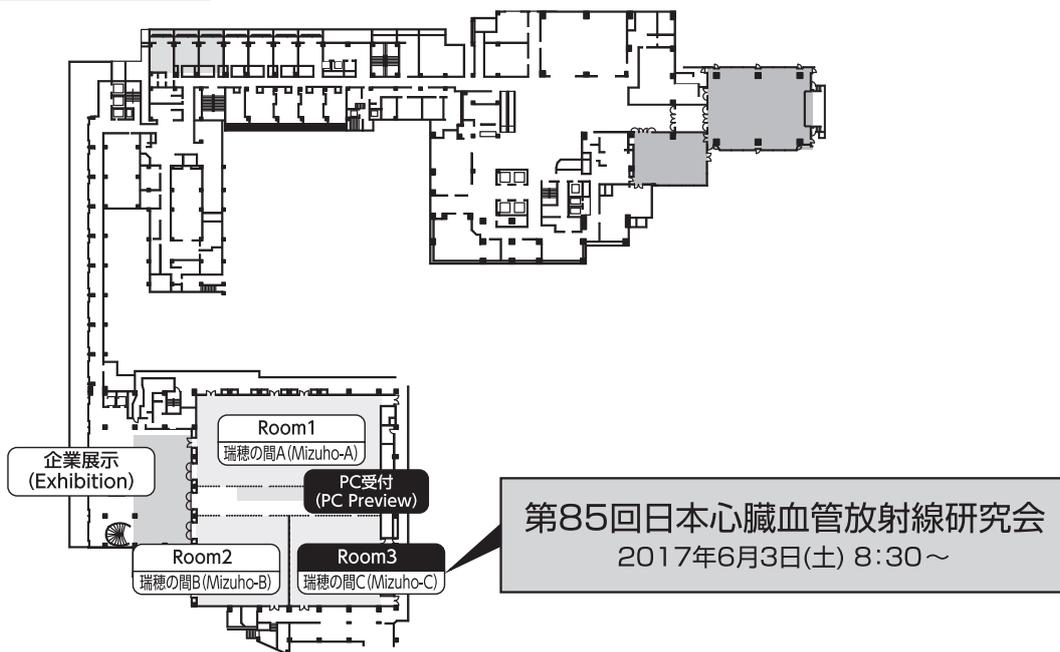
2F



3F



4F



2017年6月3日(土)

	4F 瑞穂の間C(Room3)	2F 愛宕の間(Room5)
8:00		
8:30	8:30~8:35 Opening Remarks Kakuya Kitagawa(Mie University, Japan)	
9:00	8:35~9:15 Session1 Myocardium 1~4 Moderator:Shigeo Okuda(Keio University, Japan)	
	9:15~10:00 Session2 CT & Case Reports 5~9 Moderator:Munemasa Okada(Yamaguchi University, Japan)	
10:00	10:00~10:15 Break 15min.	
	(ASCI2017との合同セッション)	
11:00	10:15~11:45 Joint Session with JSCVR Noninvasive Imaging in Patients with Acute Chest Pain Moderator:Kei Takase(Tohoku University, Japan) Yun Hyeon Kim(Chonnam National University, Korea)	
12:00	11:45~12:00 Break 15min.	6月2日(金) 11:45~12:00 世話人会
	12:00~13:00 Luncheon Sympoium 8(Room 3) by Bayer Yakuhin, Ltd. Moderator:Naofumi Matsunaga(Yamaguchi University, Japan) ※ASCI2017 Luncheon Sympoium 6(Room 1), 7(Room 2)	
13:00	13:00~13:15 Information from JSCVR Secretariat	
14:00	13:45~14:00 Break 15min.	
	※中継(ASCI2017 Session)	
15:00	14:00~15:30 Relay broadcasting ASCI meets EACVI: Room 1 Lessons from Large Imaging Studies Moderator:Teruhito Mochizuki(Ehime University, Japan) Chiara Bucciarelli-Ducci(University of Bristol, UK)	
	15:30~15:40 Break 10min.	
16:00	※中継(ASCI2017との合同セッション)	
	15:40~17:10 Relay broadcasting Joint Case Discussion with JSCVR: Room1 Moderator:Daisuke Utsunomiya(Kumamoto University, Japan) Tae Hoon Kim(Gangnam Severance Hospital, Korea)	
17:00		
	17:10~17:30 Closing Ceremony: Room 1 Hajime Sakuma(Mie University, Japan)	
18:00		



プログラム

プログラム

Opening Remarks 8:30~8:35

85JSCVR President
Kakuya Kitagawa (Mie University, Japan)

Session1 Myocardium 8:35~9:15

Moderator: Shigeo Okuda (Keio University, Japan)

1 T1 mapping on 3T CMR Detects Myocardial Edema in Patients with Takotsubo cardiomyopathy

○Yukio Aikawa¹⁾, Teruo Noguchi²⁾, Yoshiaki Morita³⁾, Hisao Ogawa²⁾,
Satoshi Yasuda²⁾

¹⁾Hokusetsu General Hospital・Cardiology

²⁾National Cerebral and Cardiovascular Center・Cardiovascular medicine ³⁾National Cerebral and Cardiovascular Center・Radiology

2 Prognostic impact of wide QRS plus gadolinium enhancement dilated cardiomyopathy

○Kyohei Marume, Emi Tateishi, Tsukasa Kamakura, Yoshiaki Morita, Yoichi Goto,
Kengo Kusano, Toshihisa Anzai, Satoshi Yasuda, Teruo Noguchi
National Cerebral and Cardiovascular Center・Department of Cardiovascular Medicine

3 Evaluation of damaged myocardium using gated SPECT and cardiac MRI

○Keiko Koyama¹⁾, Hiroaki Yamada¹⁾, Mizunori Mochiki¹⁾, Megumi Kanou¹⁾,
Taichi Ogura¹⁾, Hiroshi Hoshizaki²⁾, Shigeru Oshima²⁾

¹⁾Gunma prefectural cardiovascular center・Division of Radiology

²⁾Gunma prefectural cardiovascular center・Division of Cardiology

4 Relationship of left ventricular dyssynchrony in the phase analysis on gated myocardial perfusion SPECT and late gadolinium enhancement on MR imaging in patients with hypertrophic cardiomyopathy

○Hideaki Yuki, Daisuke Utsunomiya, Shinya Shiraishi, Seitaro Oda,
Kenichiro Hirata, Yasuyuki Yamashita
Faculty of Life Sciences Kumamoto University・Radiology

Session2 CT & Case Reports 9:15~ 10:00

Moderator: Munemasa Okada (Yamaguchi University, Japan)

5 Correlation among lung PBV, lung perfusion SPECT and pulmonary angiography images in patients with CTEPH.

○Hirofumi Koike¹⁾, Eijun Sueyoshi²⁾, Ichiro Sakamoto²⁾, Masataka Uetani²⁾,
Tomoo Nakata³⁾, Kouji Maemura³⁾

¹⁾Nagasaki Rousai Hospital・Department of Radiology

²⁾Nagasaki University Hospital・Department of Radiology ³⁾Nagasaki University Hospital・
Department of Cardiovascular medicine

6 Comparison of filtered back projection, hybrid- and model-based iterative reconstructions: tradeoff between noise reduction and inartificial visualization

○Kenichiro Hirata, Daisuke Utsunomiya, Hideaki Yuki, Seitaro Oda,
Takeshi Nakaura, Yasuyuki Yamashita
Kumamoto University・Diagnostic Radiology

7 A case of pulmonary hypertension caused by isolated large vessel vasculitis in proximal pulmonary arteries: imaging and intervention

○Hiroki Kamada¹⁾, Hideki Ota¹⁾, Nobuhiro Yaoita²⁾, Tatsuo Aoki²⁾,
Koichiro Sugimura²⁾, Kentaro Takanami¹⁾, Kei Takase¹⁾

¹⁾Tohoku University Hospital・Department of Diagnostic Radiology

²⁾Tohoku University Hospital・Department of Cardiology

8 Aortic shape and blood flow pattern in bicuspid aortic valve

○Shigeo Okuda, Syunsuke Matsumoto, Yoshitake Yamada, Tatsuya Suzuki,
Masahiro Jinzaki

Keio University School of Medicine・Department of Diagnostic Radiology

9 Case report: Bronchial and coronary arteries to pulmonary artery shunt in a patient

○Takafumi Nomura, Munemasa Okada, Naofumi Matsunaga
Yamaguchi University・Radiology

< Break 15min >

プログラム

※ ASCI 2017 との合同セッション

Joint Session with JSCVR

10:15~11:45

Noninvasive Imaging in Patients with Acute Chest Pain

Moderator: Kei Takase (Tohoku University, Japan)

Yun Hyeon Kim (Chonnam National University, Korea)

1. Current Status of Triple Rule Out CT

Yeon Hyeon Choe

Samsung Medical Center, Korea

2. MRI in Acute Myocardial Infarction.

Luigi Natale

Catholic University of the Sacred Heart, Italy

3. MRI in Acute Aortic Syndrome

Karen Ordovas

University of California San Francisco, USA

4. Is Dual-energy CT Useful for Patients with Chest Pain?

Hideki Ota

Tohoku University, Japan

< Break 15min >

世話人会 11:45~12:00

Room 5(2F Atago)

ASCI2017 Session

Luncheon Symposium 8

12:00~13:00(Room 3)

Moderator: Naofumi Matsunaga (Yamaguchi University, Japan)

※ ASCI2017 Luncheon Symposium 6 : Room1

Luncheon Symposium 7 : Room2

Information from JSCVR Secretariat 13:00~13:15

< Break 15min >

※ ASCI 2017 Session

ASCI2017 Session

Relay broadcasting

14:00~ 15:30(Room1)

Lessons from Large Imaging Studies

Moderator: Teruhito Mochizuki (Ehime University, Japan)

Chiara Bucciarelli-Ducci (University of Bristol, UK)

< Break 10min >

※ ASCI 2017 との合同セッション

Relay broadcasting

15:40~ 17:10(Room1)

Joint Case Discussion with JSCVR

Moderator: Daisuke Utsunomiya (Kumamoto University, Japan)

Tae Hoon Kim (Gangnam Severance Hospital, Korea)

Question teams (7)

- JSCVR (Japan×2)
- ASCI (Korea, Hong Kong, Singapore)
- NASCI (USA)
- ESCR (Europe)

Diagnostic reading team (7)

- ASCI-Square team×7

Closing Ceremony

17:10~ 17:30(Room1)

ASCI2017 President

Hajime Sakuma (Mie University, Japan)

交通のご案内



会場

ウェスティン都ホテル京都

〒605-0052 京都市東山区粟田口華頂町1 (三条けあげ)

TEL: 075-771-7111 / FAX: 075-751-2490

HP: <http://www.miyakohotels.ne.jp/westinkyoto/>

アクセス方法

- 地下鉄東西線「蹴上駅(けあげ)」下車 徒歩約2分。
- JR/近鉄京都駅から地下鉄烏丸線「烏丸御池駅」
→東西線に乗換え「蹴上駅」下車 徒歩約2分。
- 京阪本線三条駅から地下鉄東西線「蹴上駅」下車 徒歩約2分。
- 京都駅八条口からホテルバスで約25分。
(9時~21時の間、毎時0分と30分に発車 / 最終21時発)